

「市立病院の変遷 後編

「JT工場跡地へ新築移転」

昭和2年12月20日の市会は「たばこ専売局山下分工場の移転計画に伴う土地提供の件」を承認しました。

当時、たばこ専売局（現在のJT）山下分工場は、現在の市庁舎本館敷地であり、同局は市に「工場を拡張するため、移転させたい。ついては、移転先の工場用地を市であっせん、提供してほしい」と申し入れていました。これに対し市は「山下分工場は市役所（現市立美術館の場所）と県庁（現県民交流センターの場所）に近接しているので、移転先をあっせん、提供する代わりに、その用地と山下分工場の敷地を交換して、工場跡地は市有地とする」との方針を出して、市会に提案したのでした。

市が交換の候補地としたのは、上荒

田町の土地でした。当時の上荒田は、文字通り「荒田の田んぼ」。市の買収は順調に進み、翌3年5月に同局へ引き渡しました。

その後、JT鹿児島工場の閉鎖に伴い、跡地を市土地開発公社が購入、平成24年2月には、市立病院が移転用地として土地の一部を購入し、同年9月に建設に着工しました。新病院は、旧病院と比較して、敷地面積が約2・8倍、建物の延べ面積は約1・3倍となり、機能面をさらに充実強化しており、平成27年4月17日には完成記念式典が行われました。



新病院建設前のJT鹿児島工場跡地